



平成 25 年 2 月 22 日

各 位

会 社 名 **株式会社 MORESCO**
 代表者名 代表取締役社長 赤田 民生
 (コード番号 5018 東証第一部)
 問合せ先 管理本部広報室長 田中 真人
 TEL 078 - 303 - 9058

MORESCO 中期経営計画(2013～2015 年度)について

この度、当社グループ中期経営計画のローリングを実施し、2013年度から2015年度までの3年間を対象とした **MORESCO** グループの中期経営計画を策定しましたので、その概要についてお知らせします。

1. 中期経営ビジョン

「小さくとも世界にきらりと光を放つ **MORESCO** グループ」

—水と油と高分子のスペシャリストとして社会の発展に貢献する—

2. 中期経営方針

- 1) 世界に通用するオンリーワン製品を開発する
- 2) グローバルな視点で成長市場に事業展開する
- 3) 生産プロセスの革新により、品質とコスト競争力を強化する
- 4) グループ内外企業と連携し、ビジネスチャンスを広げる
- 5) 多様な人材が織り成す活力ある組織を目指す
- 6) コンプライアンス・リスク管理を充実し、ステークホルダーの信頼を高める

(以上は昨年度発表と変更ありません。)

3. 中期経営計画策定についての考え方

世界経済は中国、東南アジア等の新興国を中心に成長が持続し、自動車、電子機器、衛生材料、その他で需要が拡大するものと思われます。国内では海外経済の持ち直しと円安を背景に国内生産も緩やかに回復する兆しが見えはじめております。当社はこのような環境変化の中、今後の成長が期待できる分野に対して、積極的な経営資源の投入を行い、事業を効率的かつグローバルに展開することを目指し、国内外の成長エリア、成長分野における様々なニーズを先取りし新製品開発を行うことにより、社会の発展に貢献する製品を提供してまいります。

4. 売上高、利益計画 (連結)

(単位：百万円)

	2012 年度見込	2013 年度	2014 年度	2015 年度
売 上 高	20,300	23,400	26,100	28,700
営 業 利 益	1,050	1,700	2,100	2,500
経 常 利 益	1,200	1,900	2,400	2,800
当 期 純 利 益	670	1,000	1,300	1,500
経 常 利 益 率	5.9%	8.1%	9.2%	9.8%

注) 2012 年度見込は当中期経営計画発表日現在の業績予想値です。

5. 中期経営計画

5.1 中期経営計画の重点事業戦略（各部門概要）

①特殊潤滑油部門

主な需要先である自動車産業においては、中国や東南アジアを中心とした新興国での生産台数の増加が見込まれております。国内トップシェアのダイカスト用油剤では、現地での開発体制を充実するとともに、国内開発陣の海外支援を強化することにより、現地ニーズに対応した製品開発をスピードアップし、世界No.1メーカーを目指します。また、切削油剤では、これまで油性タイプでしか対応できなかった難加工や、航空機関連材料にも対応できる水溶性タイプの新製品開発と拡販を進めます。

②合成潤滑油部門

高温用合成潤滑油は、自動車電装部品向けの高温度軸受用グリースの基材として使用されており、高いシェアを有するオンリーワン製品として国内はもとより、中国への市場開拓を図ります。また、食品、建材用途では中国、米国、東南アジアなどへの海外展開を進めます。

ハードディスクドライブの需要はクラウドサーバー用、テレビ用などの記録媒体として成長すると予想され、ハードディスク表面潤滑剤は今後も安定的な伸びが見込まれます。さらに高密度化する記録媒体のニーズに対応し、新潤滑剤の開発に努め、更なるシェアアップを図ります。

③素材部門

主力製品である流動パラフィンは、中国などでの需要が拡大するリチウムイオン電池生産向けや化粧品向けの拡販に努め、国内では、樹脂・ゴム用改質剤関連等、既存用途以外の新用途開発を加速し市場の拡大に努めます。

製造面では、合理化・省力化投資により、コスト競争力の向上と品質の安定に努め、競争力の強化を図ります。

④ホットメルト接着剤部門

主要用途である紙おむつ向けは、国内では大人用紙おむつの需要が堅調であり、海外では東南アジア等での人口増加により子供用の大きな需要が見込まれています。これに対応しインドネシア現地法人では、同国をはじめ、ベトナム、タイなどへの拡販を目指します。

また、近年の環境問題であるVOC（揮発性有機化合物）への対策として、需要増加が見込まれる、自動車内装用を主とする反応型ホットメルト接着剤の市場展開を推進します。さらにはラベル等の粘着材分野において、配送伝票などのビジネスフォーム向けの開発により売上拡大を目指します。

5.2 部門別売上高の計画（連結）

（単位：百万円）

	2012年度見込	2013年度	2014年度	2015年度
化学品事業	20,250	23,350	26,050	28,650
特殊潤滑油部門	9,280	10,370	11,080	11,860
合成潤滑油部門	1,710	1,870	2,180	2,420
素材部門	3,480	3,670	4,030	4,320
ホットメルト接着剤部門	4,620	5,870	7,040	8,090
その他	1,160	1,570	1,720	1,960
賃貸ビル事業	50	50	50	50
合計	20,300	23,400	26,100	28,700

注）2012年度見込は当中期経営計画発表日現在の売上高予想値です。

6. 海外戦略および新製品開発

6.1 海外戦略

当社グループは、自動車関連や衛生材料分野で今後とも成長が見込まれる中国、タイ、インドネシアおよびベトナムなどの新興国に対して、特殊潤滑油、ホットメルト接着剤などの事業展開を積極的に推進します。

中国では現地販売網を整備し、日系のみならず欧米系、中国系企業への販売を強化します。東南アジアでは現地での開発力を強化し、ニーズに対応した製品開発をタイムリーに行うことで、成長市場でのシェアアップに努めます。またタイ、インドネシアの生産拠点を核としてベトナムへの市場開拓を進めます。米国では販売網の充実を図り、ダイカスト用油剤および高温用合成潤滑油を中心とした市場開拓を推進するとともに、日系をはじめとする自動車メーカーが多く進出するメキシコにおいては、販売体制を整えるとともに、将来の成長が期待できるブラジルでも、今後の事業展開に向けた取り組みを進めます。

6.2 新製品開発

新製品開発では、「環境関連分野」、「情報関連分野」、「エネルギーデバイス分野」の3分野に重点をおき、世界に通用するオンリーワン製品の開発に取り組み、高付加価値製品の開発に注力していきます。

1) 環境関連分野

自動車関連部品の製造工程で重要な役割を担う特殊潤滑油分野では、省資源、省エネルギーに貢献する高機能製品の開発を進めます。少量塗布で優れた離型性や潤滑性を発揮するダイカスト用油剤、難削材を加工できる切削油剤、リチウムイオン電池筐体の製造工程の短縮に寄与するプレス加工用潤滑剤など、オリジナリティーの高い製品展開を図ります。

溶剤を含まず環境負荷軽減に寄与するホットメルト接着剤分野では、反応型ホットメルト接着剤で、耐熱性をさらに向上し、自動車内装用途での使用部位の拡大を図ります。

2) 情報関連分野

ハードディスクメディアの高密度化にともない、より高度な次世代記録方式に対応したハードディスク表面潤滑剤の先行開発を積極的に進め、新機種での採用を目指します。また、ハードディスクドライブ関連分野の裾野を広げ、動圧軸受用潤滑剤や超精密加工用切削油剤など、周辺分野を担う潤滑剤の開発を推進します。

3) エネルギーデバイス分野

有機合成技術、配合技術、高分子材料の変性技術などを活かし、今後の成長が期待される有機ELパネルや照明、薄膜太陽電池などの有機デバイスの長寿命化に貢献する高バリア性封止材料の新製品開発を加速します。また、有機デバイス分野で高いシェアを有する韓国、台湾企業への取り組みを強化し、新エネルギー関連分野への展開を加速します。

以上